

基山町

No.80

令和3年第4回定例会

12月議会

議会だより

基山町議会 | 検索

町議会ホームページ
<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>



【特集】

答弁が「検討します」はどうなった？

コロナ禍での給食（若基小学校）

特集	2
臨時会・定例会	4
議案審議	6
一般質問	8
町議会と語ろう会	14

令和4年1月31日発行

どうなった？

議員の一般質問で、よく町長等が「その件については今後検討します」との答弁があります。今回の特集は令和2年3月、6月、9月、12月議会の1年間で各議員が行った一般質問の答弁で、この「検討します」のその後を追いました。その結果は検討され実施されていたことが分かりました。

(松石 信男)

問 認知症本人、および家族が安心して暮らせる環境を求む。

(松石健児議員・令和2年3月議会)

結果 介護予防研修を令和2年度から開始しているが、今年度久留米大学と協議し、介護予防研修メニューの改善を行った。

問 性別に関係なくスカートかスラックスの選択導入の学校が増えている。冬の寒さ対策、動きやすさなどの機能性、LGBT（性的少数者）への配慮が必要だ。

(大久保由美子議員・令和2年3月議会)

結果 令和5年度からのLGBT等に配慮した制服導入に向けて準備していく。

問 町営住宅の本桜団地・割田団地の入居改善はどのようなものか。

(天本勉議員・令和2年6月議会)

結果 高層階の空き室に風呂釜、浴槽、給湯器の設置、和室をフローリングにした。



問 学校給食の助成は県内8割の町で実施している。子どもの貧困対策のためにも学校給食の助成を提案する。

(松石信男議員・令和2年9月議会)

結果 現在検討中。

問 新型コロナ後こそ農林業に興味を持つ人が増える。町独自策を打ち出せる職員育成が重要だ。

(末次明議員・令和2年9月議会)

結果 林業の専門家として来年度集落支援員を雇用予定。

「検討します」は

問 葬祭公園の広域利用、新築移転、現地建て替え等今後の未来を、いつ町民に示すのか。

(中村絵理議員・令和2年9月議会)

結果 修繕・改修等により長寿命化を図りながら、令和20年度に建て替えを予定している。



問 町民に対して「教育プラン」のダイジェスト版の作成、配布の検討を。

(河野保久議員・令和2年9月議会)

結果 令和3年7月に概要版を作成し配布した。

問 町内公共施設のトイレは現在の生活様式に合っていない。洋式化の予定はどうか。

(大山勝代議員・令和2年12月議会)

結果 屋外トイレはほぼ洋式化した。



問 高度の医療技術でガンを治療する先進医療は保険適用がないため治療費が高額となる。その一部を助成できないか。

(鳥飼勝美議員・令和2年12月議会)

結果 県内では1自治体しか実施がなく、現状では考えていない。

問 町の公共施設で手すりがない所がある。高齢化が進むなかで整備が必要ではないか。

(栞野久明議員・令和2年12月議会)

結果 手すりのない階段の調査が終了したので、優先順位を付けて対応する。



問 老朽化した地区公民館の建て替えの補助はどうしているのか。

(重松一徳議員・令和2年12月議会)

結果 補助上限額を400万円から600万円に引き上げた。

第3回臨時会 (11月29日)

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案36	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部改正について	議案39	令和3年度一般会計補正予算(第9号)
議案37	町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議案40	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案38	町長、副町長及び教育長の諸給与と条例の一部改正について	議案41	令和3年度下水道事業会計補正予算(第3号)

第3回臨時会

一般会計補正 期末手当を減額 予算総額 79億7860万円に

人事院勧告により職員、議員、町長、副町長、教育長の期末手当の支給月数を引き下げることによる減額

第4回定例会 (12月6日～16日)

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案42	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	議案49	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について
議案43	課設置条例の一部改正について	議案50	令和3年度一般会計補正予算(第10号)
議案45	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	議案51	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案46	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	議案52	令和3年度下水道事業会計補正予算(第4号)
議案47	国民健康保険条例の一部改正について	議案53	令和3年度一般会計補正予算(第11号)
議案48	町営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議案54	令和3年度一般会計補正予算(第12号)

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 退 退席 除 除斥 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	栗野 久明	河野 保久	鳥飼 勝美	大山 勝代	品川 義則	松石 信男	
議案44	育英資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

反対討論

議案の内容について反対はしないが、議案が議決する前に町広報で全町民に報じられたことは遺憾である。執行部が議会の議決権を軽視したことを抗議しこの条例改正に反対する。

品川議員

一般会計補正 10億2286万円追加 予算総額 90億146万円に

子育て世帯や住民税非課税世帯等へ臨時特別給付金 8月豪雨災害に伴う災害復旧費等など

■ 主な事業 ■

子育て世帯へ臨時特別給付金

18歳以下の子どもがいる子育て世帯を支援するため、対象児童1人につき10万円を支給する。
事業費：2億9061万円

住民税非課税世帯等へ臨時特別給付金

住民税非課税世帯やコロナ禍の影響で家計が急変した世帯に、生活資金支援のため10万円を支給する。基準日（令和3年12月10日）
事業費：1億7015万円

障害者福祉に関する給付費の増額

障害者総合支援法や児童福祉法に基づく訪問や支援などのサービス利用者増による増額。

- (1)障害者自立支援給付費：1952万円
- (2)障害児通所給付費：5055万円

保育対策費の増額

園児数増による施設型や地域型の保育園等への給付費の増額。

- (1)施設型給付費：2246万円
- (2)地域型保育施設給付費：915万円

サガン鳥栖による「サッカー教室」開催の委託料

町内に居住または通学している中学生を対象に、サガン鳥栖の選手やコーチによるサッカー教室を開催し、技術や目的意識を向上させるとともに健康増進を図る。

事業費：55万円



サッカー教室の風景（12月末開催）

令和3年8月豪雨災害の災害復旧費

- (1)公共土木施設災害復旧工事：1100万円
- (2)農地農業用施設災害復旧工事：3200万円
- (3)林道施設災害復旧工事：9550万円

農業・農村振興整備事業

ほ場整備や農道の新設・改良・舗装などを行う農業者や団体に対し、補助金を交付することにより農業・農村の振興を図る。

事業費：211万円

育英資金貸付基金 貸付条件を緩和

審査、調査
の担当課

総務企画課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第4回定例会 議案審議

基山町課設置条例の一部改正について

問 企画政策課新設の目的は何か。

答 国がデジタル技術を活用した行政サービスの改革（自治体DX）を推進している。行政手続きの簡素化等への対応や、今後、戦略的な企画を行政の中心として担って行く部署の必要性により、総務企画課から総務課と企画政策課に分ける。

基山町育英資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例

問 貸付条件等の緩和は良いことだが、貸付金額の増額や減免制度導入は検討しなかつたのか。

答 今回は多くの人に貸し付ける方法を選択した。その件は、今後議論を深める。

提案 利用対象者への広報や基金財源を確保する取り組み等、魅力ある制度を構築するよう努めること。

一般会計補正予算

スポーツイベント実施業務委託料 55万円

問 サガン鳥栖との連携協定に伴うサッカー教室とのことだが、他のスポーツも同様の事業が開催できないか。

答 プロ野球選手トークイベントや陸上教室等も開催した。

提案 今後も幅広いスポーツの普及に取り組み、スポーツを一つの手段として子どもたちを育てる活動を実施するよう努めること。



企画政策課は庁舎3階、財政課の隣に設置

貸付基金の改正内容

項目	改正後	改正前
条件	勉学の意欲を有する	成績優秀
貸付対象者	高校生 高専(4年以上) 専門学生 短大生 大学生 大学院生	高校生 短大生 大学生 大学院生
償還期間	10年以内	6年以内



基山町は子どもたちのスポーツも盛ん

所管事務調査

基山町歴史的文化的財の現状

基山町には、基山(きざん)周辺に広がる国の特別史跡基肆城跡をはじめ旧長崎街道沿いには歴史的風致建造物等が点在、歴史的出土品も数多く保管されている。



歴史的建造物 基山商店(基峰鶴)

当委員会では、建造物等の歴史的価値を高め広報活動に努めること。出土品の図書館での常設展示、大きな災害や新型コロナウイルス感染症への取組記録の保存、併せて創作劇等で基山町の歴史を継承して行くよう提案した。

基山駅前駐車を有料化

厚生産業常任委員会

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第4回定例会 議案審議

基山町営駐車場の設置や管理に関する条例の一部改正

問

基山駅前駐車場の有料化に伴い、長時間有料駐車が増えて、送迎目的の利用者に支障をきたすのではないかと。

答

長時間利用者へ、利用目的の啓発を行い、改善が見られない時は料金改定も検討したい。

問

当駐車場へ進入する際の道路標示が分かりづらい。今回の整備で改善できないか。

答

安全性を検証して整備する。



日曜日の基山駅前

提案 送迎用駐車場の利用向上に努め、円滑な誘導表示を行い、歩行者、車両の安全な通行の確保を提案する。

区画数と使用料金	
区画数	10区画 障がい者用1台除く
使用料金	基本料金 駐車時間20分未満は無料 20分以上は 60分/100円 17時～20時は 30分/150円
	時間帯最大料金 (昼間) 7時～17時 600円 (夜間) 20時～7時 500円

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正

問

どのような改正か。

答

国のDX推進により、書面等に代えて電磁的記録の提供ができる。保育所、幼稚園、認定こども園や小規模保育事業所等の保護者が申請等の簡素化が図れる。

提案 保護者に丁寧な周知を行い、個人情報保護の適正な管理運用に努めること。

一般会計補正予算

農業・農村振興整備事業補助金 211万円

問

農業・農村振興整備事業交付補助金要綱を、新たに制定する理由は何か。

答

生産基盤整備を重点に規則で運用していたが、日頃より農地維持管理に困窮している状況を鑑み、補助範囲の拡大と補助率のかさ上げを行い、経済的負担軽減を図るために制定した。

問

災害時の農地やのりの追加ができないか。

答

農業の振興整備事業は災害復旧補助事業と分けて行うのが一般的で、財政面を含め検討する。

所管事務調査

介護保険事業の現状

町は基山地区地域包括支援センターと連携して相談業務や介護申請受付等の業務を担っている。高齢化率の現状は30.7%、そのうち要支援・要介護認定者率は13.36%である。

プラチナ社会政策室は一人暮らし高齢者等の個別訪問を開始。「通いの場」の参加は要介護者になりにくい効果を上げている。

当委員会は、広報誌等に個別訪問する馴染みのない生活支援コーディネーターの写真を添付しての周知を提案した。



福祉課で相談中



問 来年度予算編成は
答 新規事業を策定中

とり かい かつ み
鳥 飼 勝 美 議員



問 来年度当初予算の重点事業は何か。

答 コロナ禍のダメージ回復と脱炭素社会の構築、教育・子育て事業のさらなる充実を念頭に予算編成を行っていく。

問 予算編成方針は、公表すべきではないか。

答 今年度から公表している。

問 予算編成のスケジュールはどのようになっていくのか。

答 10月に予算編成方針策定、11月の各課からの予算要求、12月財政課査定、1月から2月にかけて町長査定となっている。

問 町の財政計画と当初予算は整合性が取れるのか。

答 現在の財政状況は良好な状況であり、今年度中に中期財政計画を策定する。

問 基山町の喫緊の課題である、消防団の再編、中山間地域の振興、



築43年が経過し、老朽化が進む葬祭公園

集中豪雨への取り組み、園部団地建替事業等に対する事業展開は。

答 これらの事業は、重要な課題であり、来年度予算の施政運営方針に盛り込んでいく。

問 葬祭公園（火葬場）の建て替えは

答 築43年を経過した葬祭公園は、老朽化が進み毎年高額な修理費が発生している。建て替えはしないのか。

答 適切なメンテナンスを行い、築60年までに建て替える。



問 町のゼロカーボンシティの表明は
答 実行計画に盛り込むことで表明

くわ の ひさ あき
栗 野 久 明 議員



町の地球温暖化対策は

問 環境基本計画策定の進捗は。

答 環境審議会を昨年度から各3回開催。町民や事業者、小学生からのアンケート、住民ワークショップを実施し、町民等の意見を反映した計画（案）を策定。来年2月下旬には決定したいと考えている。

問 WEB町長室に、脱二酸化炭

素の対応を町民から問われ、回答が2カ月以上遅れた理由は何か。

答 質問の時期が環境基本計画策定と重なり、環境審議会とのコンセンサスをとる必要があった。

問 ゼロカーボンシティ表明の考えは。

答 佐賀県と同様に、国の削減目標（2050年までに、二酸化炭素排出量実質ゼロ）を見据え町ができる取り組みを着実に進めることを地球温暖化対策実行計画に盛り込むことで表明したい。

駅前周辺の活性化は

問 駅前周辺の未来像が見えない。活性化をどう進めるか。

答 今後も所有者等の意向を前提に、情報収集をしながら、中心市街地として発展するよう努力していく。

問 テーマを絞った魅力あるまちづくりを。

答 活性化については、さまざまな意見を頂いている。町の魅力を周知しさらなる発展を推進する。



駅前周辺の活性化を



問 町民の安全性は担保できているか

答 安全性は確保できている



品川 義則 議員

問 防犯灯と防犯カメラ設置はどのように行われているのか。

答 各区からの要望や令和元年度に全区の安全点検を実施した結果をもとに、区長、安全な町づくり委員と設置箇所の調査を行い、計画的に設置している。今後も同様の処置をする。

消防団員定数の見直しを

問 消防団員定数180人(女性団員を除く)に対して欠員がある。対象者数が町全体で減少している状況下、団員総定数の見直しをするべきではないか。

答 団員定数条例の見直しは慎重に行う。

問 今後も団員の担い手が不足するので、自主防災組織を充実させ防災力維持を図るべきだ。

答 それぞれの役割を考えながら検討していく。

問 まちづくり提案で要望を出す判断基準がわかりにくい。今までに設置した箇所の位置図や写真等、要望が出しやすい環境が必要ではないか。

答 担当課で検討し、理解しやすいようにしていきたい。

問 女性の目線や子ども目線で設置する必要があるのか。コロナ禍以前はPTA地区懇談会等で要望が出ていたが、行われていないので調査する必要があるのか。

答 重要なことなので検討する。



頑張れ消防団



問 子育て住宅補助金の継続支給を

答 来年度から対象者全世帯に支給



重松 一徳 議員

平成28年度から、子育て・若

者世帯の住宅取得補助金制度を行っている。しかし、予算(2千万円)の範囲内での補助金(最高70万円)交付のため、今年度は9月に受け付けを終了した。住宅取得補助金の年内継続支給を求めて質問した。

問 当初、何件分を予算化していたのか。

答 平均40万円で50件していた。56件で受け付けを終了した。

問 受け付け終了後、来庁された件数は。

答 来庁しての相談は5件、電話で十数件の相談もあった。

問 年度内に予算を組み、対象者に補助金を交付できないか。

答 当初から予算の枠内で先着順としていたので、現時点では考えていない。

問 令和3年3月議会で、「途中で受け付けを終了することがないように、補正予算を組んで継続すること」と提案していたが、なぜできないのか。

答 令和元年も途中で受け付けを終了していた。今年度だけ、補正を組むと公平性に欠けることになる。

問 子育て世帯や若者が基山町に移住・定住しているのを応援しなければならぬ。継続支給を。

答 今年度はできないが、来年度から対象者全世帯に支給できるようにしたい。



僕もお手伝いするよ



問 投票立会人の一般募集を
答 区長と相談の上検討する

おおくぼ 大久保 由美子 議員



投票率向上の啓発と主権者教育

問 町の衆議院議員選挙の結果は。

答 投票率66・97%は、県内1位で町民の民度が高いと言える。

問 若い世代の投票率と啓発は。

答 10代は51・02%、20代は42・18%。中学校等に投票記載台や投票箱を貸出して啓発している。

問 若い世代にも公式LINE登録を促して、選挙期間中は積極的に選挙啓発をすべきではないのか。

答 今後は、期日前投票の前日から投票日に向け、HPを活用してプッシュ型で啓発していく。

問 小中学校での主権者教育は。

答 小学校では6年生社会科で学習する。中学校は社会科と特別活動で、生徒会長選出や議決の流れなどの選挙を体験している。



答弁中の高宮選挙管理委員会委員長

児童増で基山小の受け入れは万全か

問 児童増で教室の増設工事が始まり24学級となる。国は令和7年度までに全学年35人学級の導入を示したが、教室は確保できるのか。

答 全学年導入になると、通常学級は最大24学級と考えている。特別支援学級の対象者増により、支援学級教室が必要となる。

問 増設で通級指導教室が体育館1階へ移り、職員室も教員増から手狭である。施設的环境は適切か。

答 職員室も検討している。

温水プール構想について

問 今年度実施された町長懇談会で、町民に温水プール構想を提示している。その内容は。

答 以前から要望が多かった温水プールだが、国の「2050年までに、二酸化炭素実質ゼロにするカーボンニュートラル」の取り組みに合わせ、有機物を処理するバイオマス施設の導入と、そこで発生する熱や電力の有効利用を検討する中で、可能性があるのではないかと考え、提示した。

問 既存の道路や施設の整備、災害復旧など財政上の課題も多い。実現可能性は高いのか。

答 バイオマス施設や温水プールの規模、場所、建設費、維持管理費、投入する食物残渣の安定した回収等、さまざまな課題が考えられるので、国の補助メニューを活用した導入可能性調査を実施したいと考えている。



問 温水プールは実現可能か
答 導入可能性調査を実施

まつ いし けん じ 松石健児 議員



温水プール構想の行方はいかに（写真はイメージです）

高齢者に配慮したごみ出し方法等の基準策定を

問 宅地開発が行われる場合の設置基準や、搬入に苦慮する高齢者等への、今後の対応策は。

答 新規開発の集合住宅や分譲住宅等には、「基山町ごみ集積所設置基準」を令和3年6月に策定している。既存の集積所等についても、新たな基準を設けて適切に対応していく。



問 野口集落南開発計画のメリットは

答 雇用の創出で地域経済の活性化を

あまもと つとむ
天本 勉 議員



問 「農村地域への産業の導入に関する実施計画」が策定され、野口集落の南側の農地（三川上・三川下地区）に開発計画が進められている。その内容とメリットは何か。

答 約10ヘクタールの産業団地の開発を計画しており、新たな産業の振興を図り、地元雇用の創出を目指して、地域経済のさらなる活性化を図っていききたい。

問 進出予定業者（業種）と雇用はどうか。

答 計画では、運輸業（倉庫業、運輸に付帯するサービス業）の3事業所である。雇用は66人で、その内農業者からの雇用を15人と考えている。

問 開発による課題とその対応は。

答 交通量増加への対策や保水機能の低下などの課題解決に向け、道路、水路、調整池などの整備については、地元住民はもとより隣接する市や佐賀県など関係機関と



野口集落南側の開発予定地

協議し、周辺地域に支障がないよう進めていく。

問 今後の開発スケジュールはどうか。

答 まず、農振除外の手続きから始め、令和4年度に地区計画の手続きを行う。令和5年度から事業者により開発手続が行われ、早ければ令和6年1月頃から造成工事、令和7年1月頃から建築工事が行われる見込みである。



問 協働のまちづくりって何？

答 町民が積極的に参加すること

なかむら えり
中村 絵理 議員



問 基山町まちづくり基本条例とは何か。

答 協働を基本理念とする基山町まちづくりの最高規範である。

問 協働とは何を指すのか。

答 町民が積極的にまちづくりに参加し、議会や行政と情報を共有しながら、お互いに協力し合うということ。

問 条例の主な項目は。

答 出前講座、町民提案、まちづくり計画策定、情報公開、地域担当職員、協働の推進、町民からの意見募集等である。

問 ホームページへの積極的な掲載や分かりやすいパンフレット作成等、条例の存在とその内容を町民へ周知する方法を考えるべきではないのか。

答 町民への周知を検討したい。



朝の通学見守り活動も協働の一つ

基山地域ねこサポート活動

問 町民が主体となったTNR活動団体（捕獲後、不妊・去勢手術を行い地域に戻す）がけやき台を中心に活動を始めた。町として支援できることは何か。

答 まちづくり基金事業補助金、佐賀県地域猫活動支援事業への申請、どうぶつ基金への行政登録、捕獲機の貸出等を考えている。



問 棚田法の指定に期待する
答 中山間地域の事業がより進む

すえ つぐ
 末次
 あきら
 明議員



棚田地域の再生を進めよう

問 棚田法指定で耕作放棄地化を抑制し、基山町で農業をやりたいと思う人が増加することを期待している。まずは地区を絞り込んでやる気のある地区から取り組め。

答 この取り組みで耕作放棄地の再耕作に繋がる。成功事例をつくる。

問 棚田法の指定地は農作物作付け以外の利用はできるのか。

答 農地の一時転用等の手続きが必要だが可能である。現在も棚田にテントを設置し、キャンプ場として活用しているところもある。

問 棚田地域の所有者は高齢で後継者がいない。どう取り組むか。

答 棚田地域振興法の事業活用で中山間地が活性化し、地域の魅力が増す。関係人口増加で人の流出を抑制し、定年帰農などにつながる。

問 棚田指定地域の恩恵は。

答 農作物の加工品試作、販売活動、新規導入作物選定、コーディネート配置支援等の活用可能な事業が増える。また、国・県の支援が受けられる。



可能性が広がる棚田

新型コロナウイルス対策の優先順位は

問 基山町主導で取り組む支援策はどのような分野に重点を置くのか。

答 まず3回目のワクチン接種を滞りなく進めること。次に地域産業や社会的弱者への支援の充実と感染が落ち着いた後の活気づけるイベントなど、関係人口を増加させる観光誘客事業等を実施したい。



問 パートナーシップの制度導入を
答 広報・啓発活動を図っていく

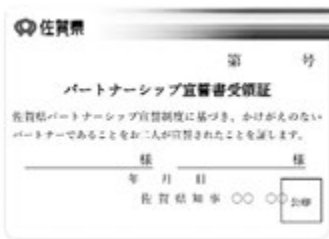
おお やま かつ よ
 大山勝代議員



問 佐賀県は九州で初めて「パートナーシップ宣誓制度」を導入し、今年8月から受付を開始した。全国的には137自治体に広がっている。基山町でもその導入の検討ができないか。

答 現行法制度の中で、さまざまな性的指向や性自認の人たちの生活上の障壁をなくすことを目的に、「佐賀県パートナーシップ宣誓制度」を導入した。「受領証」を利用することで県営住宅入居・県の医療センターの面会等家族同様の取り扱いがされる。

基山町としては制度の広報・啓発活動を図っていく。



パートナーシップ受領証

中学校の制服見直しについて

問 吉野ヶ里町の三田川中学校では生徒が組み合わせを選べる制服を来年の春から採用する。基山町ではどう検討がされているか。

答 保護者を対象にしたアンケートでは、約8割がLGBTに配慮した制服の見直しに肯定的だった。生徒・保護者・教職員等の代表で、令和5年度新入生からの新しい制服導入に向け、準備が進んでいる。

問 数年前から男女混合名簿に変更するなど、学校現場ではジェンダー平等の意識が進んでいる。多様性を認めようとするその変化に対して、町民の理解度を深める手立てはどうか。

答 子どもたちの意識の変化が、当事者への配慮を深めるなど大人にも影響を与えていくと思う。



問 学校図書館の最も重要な役割は
答 読書センターとしての役割



河野 保久 議員

問 学校図書館に対する町の基本的な考えは。

答 読書センター・学習センター・情報センターの3つの役割があると考えている。

問 最も重要な役割は。

答 読書センターとしての役割。

問 通常の開館状況は。

答 基山小は9時20分から16時まで、若基小は9時半から15時45分まで、基山中は9時から16時半までとなっている。

問 蔵書数は。

答 基山小が約1万5千冊、若基小、基山中は約1万4千冊と、文部省の示す学校図書館の標準冊数を満たしている。

問 司書等の配置は。

答 各校に1人ずつ図書司書を任用。法で定められている司書教諭

との2人で学校図書館の管理・運営を行っている。

問 運営・管理上の問題点を具体的に示せ。

答 図書カードでの手書きでの貸出業務を行っており、多くの手間がかかっている。管理運営上、バーコードの本格的な導入が急務。

問 今後はどのように。

答 情報化の進展に伴って、デジタル・音声・動画教材の活用を検討していく必要がある。



読書文化の中心施設 町立図書館



問 子どもの「均等割」減免を
答 未就学児は免除する



松石 信男 議員



3回目ワクチン接種始まる

問 長年にわたり負担が重い国保税の引き下げを提案している。国保には所得のない子どもも含め世帯人数が多ければ多いほど国保税

が高くなる均等割（一人当たり3万3800円）がある。子育て支援や貧困対策として、高校卒業まで子どもの「均等割」の2分の1減免を提案する。

答 来年度からは18歳以下第3子以降の均等割免除の継続と、未就学児の均等割免除を町独自として行う。

今こそ大規模な無料のPCR検査を

問 今心配されている「オミクロン株」の感染拡大、8月に最大の感染者と死亡者を出した「第5波」の反省を踏まえ、感染者が減少している今こそ大規模な無料のPCR検査で、無症状の感染者を見つけて保護することが必要だ。

答 感染拡大の傾向がみられる場合、感染リスクが高い地域住民がPCR検査を受けた場合は無料、また、健康上の理由でワクチン接種を受けられない場合は無料になる。

問 自宅療養で死亡者を出すことは絶対にあってはならない。基山町から出さない対策を。

答 佐賀県は「第6波」を想定して病床を434床から545床へ増床、宿泊施設を495室から615室まで増室する計画をしている。

あなたの声を町政に！ 参加 延べ37人

テーマ

- 11月4日（木） 防災、まちづくり
- 11月5日（金） 道路、災害
- 11月6日（土） 教育、安心安全（防犯）
- 11月7日（日） 子育て支援、移住定住

参加者の声

- 「私の意見を聞いていただき、ありがとう。」
- 「参加者がもう少し多いといいのですが。」
- 「他の人の声が聞けて良かった。また参加したい。」
- 「参加することで勉強になりました。」



町議会と語ろう会のように

道路、災害、子育て支援、移住定住

問 基山町から小郡市に抜ける伊勢山線の大型車通行量が多く道路の振動が発生している。ランプ等、スピードが出せない交通規制は出来ないか。細かい道路維持補修についても早急に対応してほしい。

議会 道路振動については既に予算を組んでいる。実施時期を確認する。速度規制は県公安委員会との協議となるが、地元の利便性への影響や、振動の再発につながる恐れがあることから、慎重に協議する必要がある。また、地元と相談したい。



住宅近くを通る大型車両

問 基山町は移住定住に力を入れているが中心市街地と中山間地の定住は違う。どのように分けて考えているのか。Uターン施策（リフォーム代補助等）にも力を入れてほしい。

議会 若者世帯の新居購入や転入費用の補助金制度による成果は上がっている。郊外移住希望者には提供家屋が不足している。棚田法の指定を受け定住と中山間地活性化につながることを期待したい。

問 公共工事計画室が設置された。計画策定の進捗状況はどうなっているか。まちづくり提案書が各区から提出されているが早急に対応してほしい。

議会 議会も進捗状況を報告するよう要望しているが、明確な回答は受けていない。現在、各区から提出されている、まちづくり提案も含め確認する。

問 近年、孤独死が増えている。対策強化を望む。

議会 福祉課に「プラチナ社会政策室」を設置し、一人暮らしの高齢者や将来その可能性のある世帯も含め調査と見守り体制づくりを強化している。

第9回 町議会と語ろう会を開催

防災、まちづくり、教育、安心安全

問 アダプトプログラムとは何を目的にしているのか。町内幹線道路にゴミを捨てるのは町外者が多いが、行政は何も手を打っていない。このままでは協働のまちづくりは衰退する。議員には現状の課題と解決策を議会の仕事として取り組んでほしい。

議会 町民の善意の上で成り立っているのがアダプトプログラムだが、町としても善意に頼らざるを得ない。現在のままでは誰もする人がいなくなるので、基山町の環境美化については今回のご意見をしっかり受け止める。

問 通学路の安全対策だが「歩行者に注意」の看板や「止まれ」等の表示が消えている。整備するよう要望しているが整備されていない。途中経過を報告するとともに危険箇所は事前に点検すべきだ。

議会 議会としても通学路の安心安全を確保するために交通安全対策を最優先とするよう町に伝える。危険箇所の見回りについては調査内容、方法について議会で調査する。

意見・要望

- ・小中学生のタブレット保険を保護者負担でよいので全員加入を進めてほしい。(低所得者は補助)
- ・基山町では待機児童はいないと言っているが受け入れ先が限定され潜在的な待機はある。
- ・若者世帯の移住補助金を建設業者だけでなく一部を地元商店街で使えるようにしてほしい。
- ・グリーンパークから小松地区間の秋光川は長年整備されていないため、川幅が狭くなっている場所や大きな石があり大雨時が不安だ。
- ・豪雨時の被災農業施設への補助制度見直し。
- ・コミュニティバスの経路で12区内の狭い道を路線に指定しているのはなぜか。
- ・秋口は道路沿いの落葉樹の処理は住民任せになっている。町が予算化して処理してほしい。

問 災害発生想定避難訓練を町はやってほしい。

議会 町全体では実施していないが区単位で実施しているところがある。自主防災組織も増えている。

問 不登校児童の現状はどうなっているのか。

議会 保健センター2階に教育支援センターを開設し、教育経験者を採用して、学校にいけない児童生徒に対応している。

問 基山町消防団には新団員の確保など課題が多いが各部で抱えている課題は違う。特に現団員への負荷が大きくなっている。消防団幹部との意見交換だけでなく、若い世代の声を聴いてほしい。

議会 機能的な問題は町議会では議論できないが具体的な問題は基山町の中で議論し問題解決に繋げたい。令和3年3月までに総務文教常任委員会の所管事務調査で若い団員の声を聴きたい。



消防団の課題も多い

参加していただいた皆さまありがとうございました。

基山町商工会との懇談会

令和3年11月18日(木) 基山町商工会館

駅前活性化で活発な意見

今年も商工会役員との懇談会が開催されました。

課題や今後の目標について意見交換を行い、課題については、駅前周辺再開発や活性化など、具体的な意見が出され、今後の商工会の発展に有意義な懇談会となりました。

町議会として、より寄与できればと考えます。



議会広報研修会に参加

令和3年11月19日(金) 佐賀県市町会館

「町民の皆様には、信頼と・共感される広報誌づくり」のテーマで講義があり、その後、基山町の「議会だより」について具体的な指導を頂き、編集の一助としたいと考えます。

町立小学校の学校運営に関する特別委員会を設置

主な取り組み

- ・学級数および施設運営に関する事項

委員長

大山 勝代

副委員長

天本 勉

令和4年 第1回基山町議会定例会の予定

3月1日(火)～18日(金)

一般質問 3月2日(水)～4日(金)

※この会期日程等は、状況により変更することがあります。

編集後記

議会だより発行を振り返って

基山町の「議会だより」が初めて発行されたのは、平成14年の3月議会からである。当時の坂口常美議長は発刊に寄せての中で「新しい21世紀を迎え、地方分権の制度は実行の時代となった、これからは市町村住民は自らの課題は自らが解決する自己決定と自己責任が求められると共に、住民自治の充実が強く求められる」と述べている。

私は当時の議会広報編集委員として発刊に携わったが、今回80号を迎え、「議会だより」が町民の方に読みやすく、開かれたものになっていくのではないかとと思う。さらに研鑽に努め町民の期待に応える議会だよりになればと思っている。

(松石信男)

広報広聴常任委員会

委員長

副委員長

委員

委員

委員

委員

末次

明

中村

絵理

栗野 久明

松石 信男

天本 勉

大久保由美子